

## 上川北部地域の紹介 ～ゆるキャラ編～

中川町  
音威子府村  
美深町  
名寄市  
下川町  
剣淵町  
和寒町  
士別市

じゅえる (中川町)  
おとっきー (音威子府村)  
美深(びふか)くん・美深(みみ)ちゃん (美深町)  
なよろう (名寄市)  
しもりん (下川町)  
ぷっちな (剣淵町)  
さほっち&メイちゃん (士別市)

※掲載地図は編集者が作成したものです。実際の境界・縮尺と違う場合がありますが、ご了承ください。

上川北支部は士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府町、中川町で構成されています。

冬は雪が多くとても寒い地域ですが、看護職が支部のもとに団結し、とても温かでアットホームな支部運営がなされています。

### Contents

#### ☆下半期事業報告

- ① 支部長挨拶
- ② 新生児蘇生法Aコース
- ③ ヘルシーワークプレイスを目指して
- ④ 医療安全ネットワークセミナー

#### 上川北支部会員数 (令和2年10月25日現在)

保健師	22名
助産師	24名
看護師	485名
准看護師	44名
<b>会員総数</b>	<b>575名</b>

#### 編集・発行

公益社団法人  
北海道看護協会  
上川北支部 広報委員会  
河野 美樹  
陶久 真樹  
大和屋 圭衣子  
七條 南

発行責任者  
永谷 智恵

# 支部長挨拶

新型コロナウイルス感染症が発症し、早一年になろうとしています。第3派の到来もあり北海道の感染者の累計は9,000人(12月1日現在)を超えております。看護協会員の皆様におかれましては、病棟編制、入院や面会制限、感染者対応などハード面やソフト面の様々な取り組みがなされ、大変なご苦労と存じます。さらには、昨今の感染者の急増は、医療の危機的状況をもたらし、穏やかなこの地域の人々の生活にも不安や恐怖を与えています。そのような大変な状況において、地域住民の医療や生活を支える看護職や保健福祉職の皆様にご敬意を表します。

さて感染者が急増する前の事ではありますが、北海道看護協会は、コロナ禍での事業や研修について、8月まで休止・延期になっておりました。道内の感染状況を鑑み感染対策を十分講じたうえで、事業再開となりました。上川北支部では、10月に働き続けられる職場づくり企画の「ヘルシーワークプレイス」、役員会企画の「医療安全ネットワークセミナー」、三職能団体共催事業の「養老孟子先生の医療に関わる人々への期待とエール」を実施いたしました。この地域の冬の交通の影響も考え、短期間に集中しての実施となりました。参加者からは「大変良かった、有意義である」などのお声を頂いたことに加え、感染者を発生させることなく実施できたことに、役員・委員一同安堵しております。また、他支部においては、ほとんどの事業・研修会が中止される中で、本支部が実施に至ったことは、会員の皆様の感染対策へのご協力によるものと感謝申し上げます。

今年、看護の日・看護週間30周年であるとともに、ナイチンゲール生誕200年の記念すべき年であります。世界的なキャンペーンであるNursing Now「看護の力で健康な社会を！」を全国で展開することになっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な困難に直面している今こそ、協会員のみな様と共に考え協力して、新たな看護の可能性を一步ずつ切り拓く時です。上川北支部の地域の皆様が安心して暮らせるように、役員一同、力を合わせ支部運営を行ってまいります。今後とも、上川北支部の看護職の皆様のご協力・ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



北海道看護協会 上川北支部  
支部長 永谷 智恵

名寄市立大学保健福祉学部 教授

# 新生児蘇生法Aコース

令和2年9月26日に、名寄市立総合病院で名寄地区新生児講習会（NCPRAコース）が開催されました。名寄市立総合病院の小児科医、産婦人科医、研修医、助産師、看護師、計9名が参加していました。80分間、講義を受けた後、基本手技の実演（60分）、アルゴリズム（90分）を2つの班に分かれ、医師、助産師の指導の下、出産直後の新生児に対して、挿管施行するまでの流れを全員が真剣な表情で施行し、知識、技術を取得していました。





# 『ヘルシーワークプレイス (健康で安全な職場)を目指して』 ～職場のメンタルヘルスケア～

働き続けられる委員

耳浦 晴美

上川北支部働き続けられる職場づくり推進委員会では、10月17日に「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して～職場のメンタルヘルスケア」と題しまして、会場は名寄市上川北支部働き続けられる職場づくり推進委員会では、10月17日に「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して～職場のメンタルヘルスケア」と題しまして、会場は名寄市駅前交流プラザ「よろーな」で、北星学園大学教授の田辺等先生に講演していただきました。この研修は北海道看護協会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取り、25名の参加者の皆様には協力をしていただき、無事研修会が開催できました。

医療・介護系労働のストレス環境について、発達障害系、モンスターUserへの対応など、ほとんどの参加者が今後働き続けるために活用できそうだと答えていただけました。



# 医療安全 ネットワークセミナー

10月24日(土)名寄市立大学にて、医療安全の基礎知識と実践RCA法を用いて-あなたの施設でCOVID-19のクラスターが発生した時-と題して、医療安全ネットワークセミナーが、約50名の参加で開催されました。講師は名寄市立大学の荻野大助氏で、約1時間のRCAについての講演がありました。RCA法とは、有害事象やヒヤリハットが発生したときに、模造紙に黄色が出来事、青がなぜ、赤が原因と色分けし分析し、同様の出来事が発生することを予防するプロセスです。その後、RCA法を用いてグループワークを行い、今後、各施設でクラスターが発生した時の対策の手掛かりがつかめたセミナーとなりました。

